

とともに 先へ、先へ。えさきたかし初当選



写真右=当確が出てばんざいをする「えさきたかし」左から、徳永委員長、えさきたかし、今期引退の高嶋参議。写真左上=花束を持つ「えさきたかし」。写真左下=あいさつをする「えさきたかし」右から2番目は「あいはらくみこ」



無念のあいさつをする「藤川まさし」右が峰崎参議=7月11日午後10時



JICHIRO スケジュール

2010年7月

- 23日(金) 自治労北海道学校「青年コース」
(~25日・札幌市)
- 25日(日) 北海道平和運動フォーラム総会(札幌市)
- 26日(月) 峰崎直樹連合後援会解散総会(札幌市)
- 27日(火) 道本部第23回執行委員会(札幌市)
- 30日(金) 自治労共済道支部自動車共済担当者会議(札幌市)
- 31日(土) 第43回全道自治体職員等野球大会事前会議(稚内市)
- 現業公企労働者集会(~8月1日・定山渓)

道本部ホームページ

自治労北海道 組合員専用ページは ユーザー名:hokkaido パスワード:jichi2009

参院選を終えて

自治労北海道本部
執行委員長
山上 潔

水週間塗り絵・写真コンクール

今年も、塗り絵・写真コンクール実施中!

ホームページ「自治労北海道」の[単組・組合員専用]ページに、上記のバナーがあります。詳細はバナーをクリックしてご覧ください。

➡パスワードはスケジュール下に!

水週間 8/1 ~ 8/7

昨年の政権交代後、初の国政選挙となつた第22回参議院議員選挙が7月11日投開票され、自治労組織内の比例代表候補「えさきたかし」が、初当選を果たした。しかし、道本部組織内の北海道選挙区推薦候補「藤川まさし」は、無念の次点に終わった。民主党は、改選議席54議席から10議席を下回る結果となり、より厳しい政権運営になることは必至だ。

参院選

無念の藤川まさし 次点

みねざき後継かなわず



全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7 北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 谷川 広美

峰崎参議後継をなくした瞬間、無念だった。「日本の大きな曲がり角だと訴えてきた。民主党が進める『希望の社会』『国民の生活が第一』なのか、それとも政権交代前の『新自由主義社会』に戻るのかの選択を訴えたが、十分に伝わ

朝風

らなかつた」。2議席が確定したあと藤川さんの言葉。あとから重くのしかつてきました。この「重大性」に。労働者の代表、さらには自治労の政策を訴えるためにはなくてはならない議席だった。次は人勧・大型がきをやりきろう。

2010人勧

人事院 不明確な回答を終始

「50歳台後半層給与引き下げ提案」撤回を求める



北海道の実態報告をする全道庁労連三浦賀金厚生部長=7月13日、人事院前

7月13日、社会文化会館において人勧期第1次中央行動に全国から1千人集会では月例給水準の

人を超える組合員(北海道10人)が結集した。中央行動に全国から1千人集会では月例給水準の

維持と一時金支給月数の確保など、要求事項に向けて、公務員連絡会総体で取り組みを強化することを確認した。一方、現時での情勢では、月例給についてマイナス較差

があること、一時金は昨年冬の民間実績が△10%△15%となっていることが強調された。

この後実施された人事院職員団体審議官との交渉では、人事院からは情勢が極めて厳しいことの

維持と一時金支給月数の確保など、要求事項に向けて、公務員連絡会総体で取り組みを強化することを確認した。一方、現時での情勢では、月例給についてマイナス較差

があること、一時金は昨年冬の民間実績が△10%△15%となっていることが強調された。

この後実施された人事院職員団体審議官との交渉では、人事院からは情勢が極めて厳しいことの維持と一時金支給月数の確保など、要求事項に向けて、公務員連絡会総体で取り組みを強化することを確認した。

北海道の実態報告をする全道庁労連三浦賀金厚生部長=7月13日、人事院前

要求には一切応えず、較差がマイナスとなつた場合は50歳台後半を狙い撃ちにした俸給表の改定を行ふとするなど、極めて不満な回答に止まつた。

また、人事院前で行われた交渉支援行動では、

北海道の実態について全道庁労連から報告を行

い、人事院に対して窮状

を訴えた。

公務員連絡会は、50歳

台後半層の給与引き下げ

提案に断固反対すること

を再確認し、現在取り組

みを進めている大型はが

き行動を徹底するととも

に、8月4日に第3次中

央行動(千人規模)を新

たに配置して、不退転の

決意で人勧期闘争を進め

ていくと確認した。

